

<h1>そだて</h1> <p>第269号</p>	<p>小千谷市 青少年育成センター</p>	<p>〒947-0031 小千谷市土川1丁目5番53号 Tel 0258-82-6750 Fax 0258-82-6750 相談専用電話 82-6771 e-mail: s-center@city.ojiya.niigata.jp URL <a href="http://www.city.ojiya.niigata.jp/">http://www.city.ojiya.niigata.jp/</a></p>
---------------------------	---------------------------	---

## 笑顔運ぶ「獅子の舞」

小千谷豊年獅子舞保存会

事務局 仲 邦 男

### ◆豊年獅子舞の由来

豊年獅子舞は、小千谷市指定文化財です。（民俗文化財・民俗芸能）

言い伝えによると、その昔、霊山八海山の山中で天日（太陽）を背に、山の神が3頭の獅子を相手に楽しそうに遊んでいるのを見た里人が、これぞ豊年の兆しと考え、それを模して舞ったのが始まりだと言われています。古くは旧下々町（現 元町）の鎮守である諏訪神社の祭礼に演じられていましたが、



諏訪神社が二荒神社に合祀されて以来、二荒神社夏祭りの神事として神社の境内はもとより、市内の篤志の家々の前で踊るようになりました。

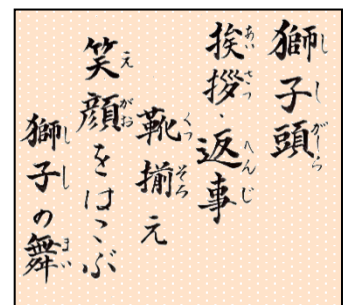
獅子舞が、いつ頃から行われるようになったかは定かではありませんが、諏訪神社の祭礼について記した天保12年（1841年）の記録には、大名行列とともに獅子舞の名があるので、少なくともそれ以前に遡ることができます。

### ◆笑顔運ぶ12人の獅子っ子（獅子舞を踊る子供）

8種類の獅子舞の内、今は「岡崎・かくだい・かくすけ・仕組・橋渡り・鳶渡り」の6種類を伝承しています。天狗（山の神）と牡獅子・牝獅子・仔獅子の3頭が太陽を表す手傘に導かれ、笛と太鼓の囃子に合わせて踊ります。4・5・6年生の各学年4人一組で踊り、少なくとも12人の獅子っ子が必要になりますが、少子化のため、元町だけでなく他町内の子供へも声を掛け、なんとか人数を確保しています。

練習では、「挨拶・返事 靴揃え 笑顔運ぶ獅子の舞」を大切に指導しています。元気な「挨拶・返事」は気持ちを前向きにし、「靴を揃える」ことは心を揃えることに繋がります。見る人の心を打つのは、獅子っ子が心を一つにして真剣に踊る姿です。「今年も素晴らしい獅子舞が見られて良かった。豊作だ!」と、周りに「笑顔と幸せ」を運べる豊年獅子舞を目指して練習に励んでいます。

最近では、小学生のときに踊った中学生も練習に参加し、模範の舞・後輩への指導を進んで行う姿が見られるようになりました。中には、囃子手に混じって、笛に挑戦する中学生もいます。このような具体的な参加の関わりが、豊年獅子舞や他の伝統芸能への理解を高め、後継者育成に繋がるものと期待しています。



### ◆伝承に向けて「豊年獅子舞教室」の開催!

数年前から、伝統文化親子教室事業（文化庁）に継続して取り組んでいます。進める上で、子供の衣装や小道具などの維持管理、笛・太鼓の囃子の育成等の課題も多々ありますが、この獅子舞教室が伝統文化の継承・発展と、子供たちの豊かな人間性の涵養に少しでも役立てれば幸いです。豊年獅子舞を経験した子供たちが、小千谷への愛着を深め、そして郷土文化への誇りを持つ若者へと成長することを、獅子舞保存会は願っております。

【参考資料『下々町「豊年獅子舞」の記』平成12年 小千谷豊年獅子舞保存会発行】

## ☆～「愛の一声」～☆

— 青少年補導委員 6月・7月の街頭補導より —

## ◆西小千谷地区

- 土曜日の午後、巡回したので「ゲームコーナー」にたくさんの子ども達がいきました。「家族と一緒にです。」と答えた子の中には、子ども達だけだったり、結構高額のお金を持ち歩いているのが心配でした。小学生だけの入店、ゲームコーナーは禁止です。同行していた先生が指導しました。
- 市民プールでは、たくさんの4～6年生と、保護者と一緒に3年生がいきました。ルールを守り使用していました。高学年の子が大人用の自転車に乗っていましたが、足がつかなくて危ないので、転ばないように気をつけて帰るように声をかけました。
- 小千谷駅前男子高校生に声をかけたらイヤホンを外し対応してくれました。声かけが難しかったのですが頑張りたいと思います。

## ◆東部地区

- 電車待ちのためコンビニ駐車場の地べたにすわっていたので声をかけました。学校が終わり家に帰るまでのひととき、友達と一緒に過ごすことが楽しそうに見えました。
- 旭橋～駅方向に向かう高校生の自転車が無灯でした。
- 河川敷には街灯がなく暗い中、数組の高校生カップルがいきましたが、初めての街頭補導だったので、どう声をかけていいのか、とまどいました。

## ◆南部地区

- 愛染様のおまつりを見回りました。小学生、中学生、高校生と一緒に楽しんでいて和やかな雰囲気でした。

## ◆北部地区

- 保護者の帰りを祖父母宅で待つ児童とその兄弟（保育園児）が外で遊んでいました。遊ぶ時間が決められているようで、家族から家に戻るよう促す声が聞こえました。
- コンビニで話を伺ったが、特に問題行動はないとの事でした。

## ◆高校

- 小千谷高校と小千谷西高校ともに体育祭でした。余韻の残る中、多くの生徒たちがコンビニ、小千谷駅、河川敷にいました。声をかけると元気に受け答えをしてくれました。暑い中の体育祭後、部活をする生徒もいます。疲れもあると思うので早めに帰宅して休息してほしいと思いました。

## 【青少年育成センターより】

初めての街頭補導の声かけは、ちょっと勇気がいるようです。どうか、気楽に「こんにちは！」「こんばんは！」から始めて下さい。きっと笑顔で返答してくれます。

「そだて」は「小千谷の伝統文化の継承」を年間テーマに、それに関する「子ども達と地域のつながり」について考えていく内容にしたいと思います。その他、街頭補導の活動報告等をおりませながら、心に残る内容と読みやすさを心がけてまいります。